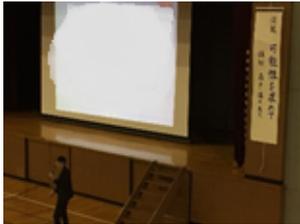


平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	愛媛県立新居浜東高校 全校生徒 約770人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (オリンピック教育講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	2020年東京オリンピック・パラリンピックへの機運を醸成するとともに、理念の普及・浸透を通じて、スポーツの価値の理解を深める。 北京オリンピックを始め、さまざまな国際大会で優秀な成績を収めている高平選手を招聘して、自身の体験や競技人生における喜びや苦勞などを講演していただき、生徒の人間形成に役立てる。
5 取組内容	<p>○事前学習</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・2020 東京オリンピックの取り組みについて オリンピックの実施種目 オリンピックを支える仕組み ・講師(高平慎二氏)の紹介 競技実績 <p>○オリンピック教育講演会(講師：高平慎二 氏)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・演題「可能性を求めて」 <p>○事後指導</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックの意義や経済効果などについて ・スポーツがその人自身や社会に及ぼす影響 ・フェアプレイの精神について ・ドーピングについて ・共生社会実現に向けての認識

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック選手から講演をしてもらうことで、高校生からすると遠い存在であったオリンピックを身近に感じるようになった。 ・講演内容がスポーツに特化したものではなかったため、進路指導や教科指導にも通ずるものがあり、学校生活全般において、生徒に目的意識や目標を持つ動機付けになった。 ・運動部活動の生徒にとっては、オリンピック選手の話は自分の競技種目につながる部分が多く、講演後の部活動が非常に活性化した。また、全国大会に出場が決まっている部の生徒には講演後に声をかけていただき、励みになった。 ・オリンピック、パラリンピックにボランティアなどで参加してみたいという生徒は増えた。 ・パラリンピックで行われる種目を体験してみたいと感じた生徒も多くなっていた。
7実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の実績が周知徹底できるよう事前指導を行った。 ・オリンピック、パラリンピックの意義について授業を使い説明をした。 ・東京2020で実施される種目について説明をした。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・実施校担当者が講師と直接連絡がとれた方が、スムーズに事業展開できると感じた。 ・事前指導については必要最小限にした方が良かったと感じた。 ・講演後の質問が多数あり、予定の時間をかなりオーバーした。事前に質問をとりまとめておくのも必要かもしれない。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の事業でオリンピック、パラリンピックの意義については講義していきたい。 ・パラリンピック種目については県から道具をお借りし、実施していきたい。 ・HRなどでもオリンピック、パラリンピックをテーマにした授業をしてもらえよう働きかけていきたい。